SHIFT ASSIST

RAPiDBIKE-JAPAN

日本語版

ver17318

品番：K27-SW-GEAR
説明：デジタルで調整可能なPUSH/PULL（正・逆変更可能） ゲージ/ロードセル対応クイックシフター
オートカットタイム機能。

特徴

- ❑ プッシュ（押すタイプ）またはプル（引くタイプ）リンケージのいずれかの設定が可能
- ❑ キルタイムの固定、または自動キルタイム設定
- ❑ 伸縮しないシフター本体、可動部分がないのでタイムロスしない本体
- ❑ 調整可能な予圧（圧力調整プリロード変更可能）
- ❑ 保護：IP66
- ❑ センサー部分の寸法 ： **長さ45mm － 直径14mm ネジ部 右・左ダブルカット仕様**

<u>サーキット、公道など安全に使用する為に、ご確認下さい。</u>

使用する前に、ラピッドバイクモジュールの**ファームウェアの**バージョン2.1.1.3以上か確認して下さい。
＊以下表記と同等またはそれ以上のバージョンである事
＊＊ Rapid Bike EVO －ラピッドバイクEVO用 バージョン1.0.52
＊＊Rapid Bike Racing －ラピッドバイクRACING用 バージョン1.0.65
古いバージョンの場合、機能オートカットオフ機能、プリロード調整は使用できません。
その場合、必ずUPデートを行ってからご使用下さい。

オートカットオフ機能 *－ デフォルト（出荷）設定がDISABLED（**無効）になって います***
ご使用する場合にあたってラピッドバイク本体・ソフトウェアで設定を変更・調整してください。
*ラピッドバイク本体で設定されている **標準** 設定の固定キルタイムで動作します*

1　装着方法

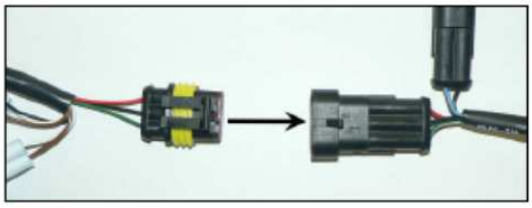
1．1　現在装着されているシフトロッドの全長を測定して取り外します。
測定したロッドとシフタ―を含めた長さが同じになるように取付を行います。
必要に応じてオプションRODを用意して下さい。

1．2　準備したシフトロッドの先端にシフタ―を装着します。
左右、向きの指定はありません。

1．3　シフタ―部分の配線に余裕を持たせて装着します。
シフトすると配線が引張られないように余裕を持たせて
ロッドなど干渉しないように注意してセンサーの小さな2Pコネクターを配線します。

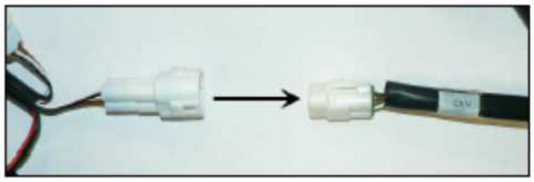
＊1

1．4　シフタ―側黒3PINメスをラピッドバイク側の
オス3PINに接続します。
AUX　INコネクター　右画像＊1参照



＊2

1．5　シフタ―側白3PINオスをラピッドバイク側の
メス3PINに接続します。
CANコネクター　　右画像＊2参照



＊＊すでにMyTUningBikegが装着されている場合＊＊

MyTuningBikeに付属の短い**CAN配線（F27TERM1）**
CANエンド（F27TERM2）は必要ありません。取り外して使用して下さい。
これから装着する場合も、上記は装着の必要はありません。

参考－F27TERM1

参考－F27TERM2

3 初期設定　ラピッドバイクマスターソフトウェアを使用して設定

新たな動作方向（プッシュ・プル）を設定する必要がある場合、次の手順で変更します。

3．1　Rapid USBケーブルを使用して、ラピッドバイクモジュールとPCを接続しマスターを実行します。
自動ダウンロード、又はGETMAPを実行してください。またはF6キーを使用します。
＊＊USBケーブルなど認識しない場合、USBドライバーを再度インストールして下さい。
＊＊IG－ONにすると認識する場合があります。

3．2　IGキーをONにします。

3．3　***Quickshifter***を開きます。PC画面に下記表示が確認できます。

＊＊ファームウェアバージョンが適合していない場合
下記画面表示は行われません。注意して下さい。

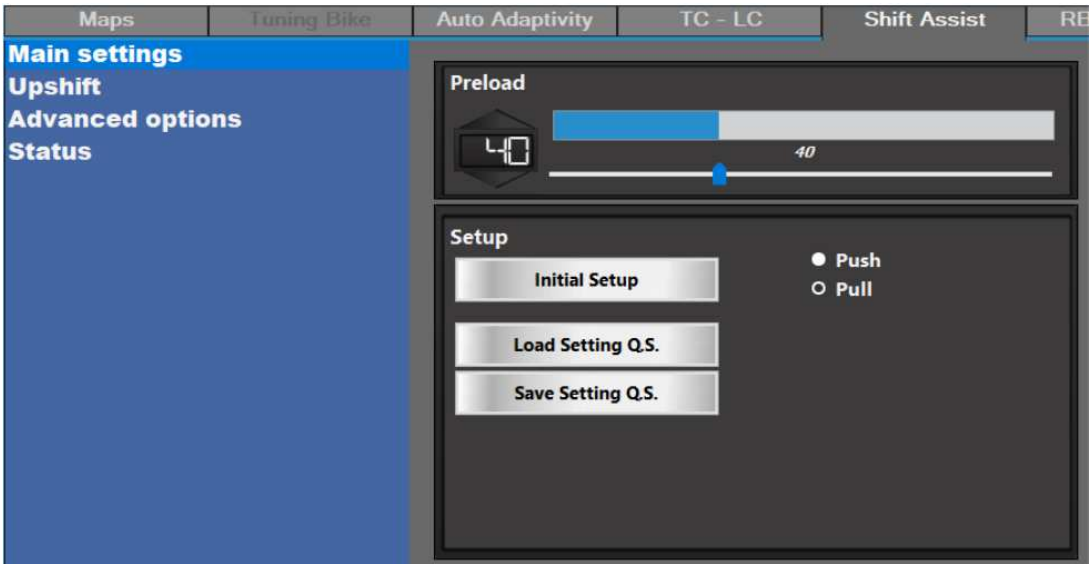
3．4　Shift Assistを選択します。InitalSetup選択します。

3．5　InitalSetup選択します。（ギアはニュートラル状態）

3．6　シフター作動方向にシフトレバーを入れて数秒程度保持して下さい。

3．7　シフト方向を認識されたらレバーを放して下さい。インストール作業完了。

3．8　IGキーをOFFにして完了します。



5 PC使用　設定確認方法（MASTER使用）

５．１　Rapid USBケーブルを使用して、ラピッドバイクモジュールとPCを接続しマスターを実行します。
自動ダウンロード、又はGETMAPを実行してください。またはF6キーを使用します。
＊＊USBケーブルなど認識しない場合、USBドライバーを再度インストールして下さい。
＊＊IG－ONにすると認識する場合があります。

５．２　IGキーをONにします。

５．３　STATUS画面を選択します。

５．４　ニュートラル6速まで入れてから抵抗を感じるまで7速にシフトレバーを上げて下さい。
SwitchGearは4．5Vから一瞬、0．0V表示になるか確認して下さい。

＊PCによっては表示が遅れる場合がございます。連続で行うとズレて表示される時がございます。
認識されているかの確認なので、確認出来れば問題なく使用可能です。

＊＊また、シフトレバーが静止状態にある時は4．8V～4．5V表示になっているでしょう。

＊もし表示が上記・下記のように行われない場合や、0Vの場合は接続を再度確認して下さい。
そして第6章で説明されるように、予荷重設定を変更・調整する必要があります。

５．６　IGキーをOFFにします。

５．７　設定・確認後、ダイノマシン上やサーキット走行などで確認する事が出来ます。
低速域～高速域、各ギアの設定が適切に行われるか確認を行います。
再度、微調整・設定を行いながら好みに応じて仕上げます。

6 センサーの感度設定・変更

Sensitivity（感度設定）はシフト入力時にシフトペダルから入力される力をどのように感知するか、
シフトペダルに対するより多くの圧力増加を行う為の”センサー硬度”、又は逆に”センサー軟度”を表します

第4章、第5章での検証・確認が失敗した場合、プリロード設定の再調整を行う必要があります

実際のギアシフトアップ状態よりも先に**シフター—スイッチが反応してします・カットしてしまう。**
この場合にはSensitivity（**感度設定）が低過ぎる為、数値を大きくする必要**があります

実際のギアシフトアップ状態よりも後に**シフター—スイッチが反応・反応しない又はカットしていない。**
この場合にはSensitivity（**感度設定）が高過ぎる為、数値を小さくする必要**があります

感度は**1**と**100**の間の範囲で設定することができ、デフォルト設定は**40**です。
感度が**0**に設定されている場合、Quickshifter機能が無効になっています。

感度設定は、ラピッドバイクMasterソフトウェアまたは**YouTuneコントローラ**を使用して設定することができます

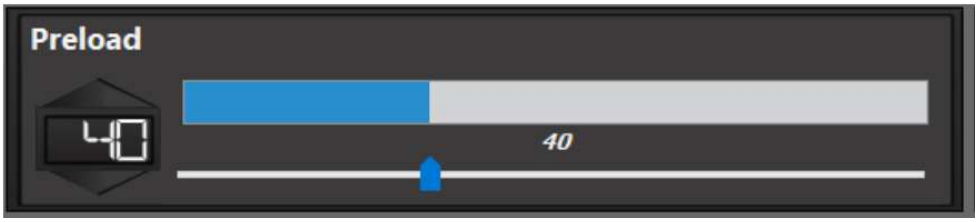
ラピッドバイクマスターソフトウェアを使用する場合

6．1　Rapid USBケーブルを使用して、ラピッドバイクモジュールとPCを接続しマスターを実行します。
自動ダウンロード、又はGETMAPを実行してください。またはF6キーを使用します。
＊＊USBケーブルなど認識しない場合、USBドライバーを再度インストールして下さい。
＊＊IGーONにすると認識する場合があります。

6．2　IGキーをONにします。

6．3　Quickshifterを開いてAll　around　Q．Sを選択します。

6．4　上記状態を確認して、必要な調整変更を行います。



6．5　設定変更後、必ずAPPLY（適用）ボタンをクリックして下さい。新しい設定が保存されます。

6．6　IGキーをOFFにします。

6．7　**設定変更後、第4章、第5章**の操作を繰り返し完了して下さい。

DUCATI

パニガーレシリーズ装着注意

フレーム構造から起こる特有の”シナリ”でシフターセンサー
に微振動を与えて誤作動を起こす場合があります。
STDユニットは振動対策されているので併用装着をお勧めします
＊STDシフターコネクターは抜いてください。
STDシフターをOFF設定にして下さい。

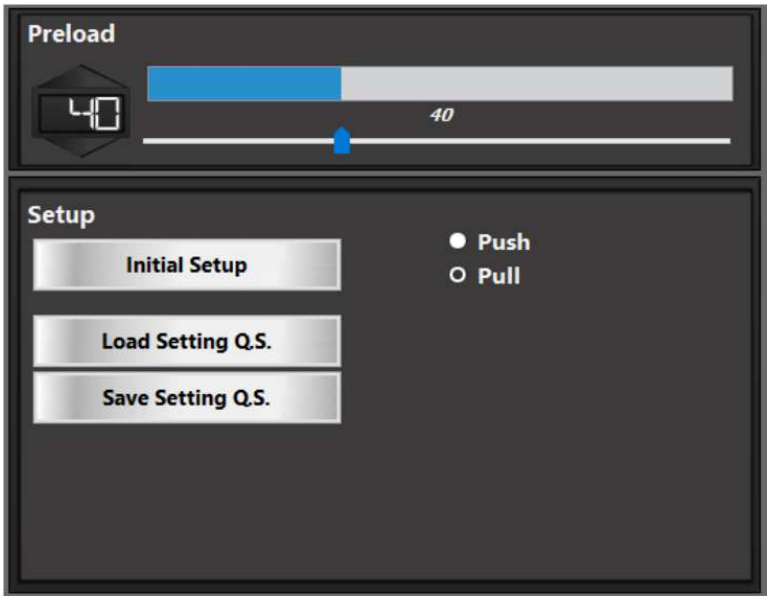
7.ソフトウェア設定

Rapid Bike Masterソフトウェアを使用すると、シフター機能、プリロード（負荷センサー）の異なる設定を選択できます。
主な設定

＊ Preload（負荷）シフト信号を入力,センサーにどれだけの力を加えなければならないかを設定します。
＊＊負荷過敏設定注意！！ステップのガタを検知・高回転時などに失火したような状態を引き起こす場合があります。

＊プッシュ(押す)/プル(引く) 実際の操作方向を示します。
初期設定、セクション3で説明したように動作方向を設定します。

＊負荷設定Q.S 各機能のすべての設定を含むファイルであるシフトアシスト装置の設定ファイルをロードする。
＊設定の保存 シフトアシスト装置の設定ファイルを保存して、各機能のすべての設定をバックアップする。



8 ソフトウェアの設定
ラピッドバイクMasterソフトウェアはquickshifter機能、詳細な異なる設定を行うことができます。
QuickshifterセクションにStandardとQS 2つの設定形式があります。
Standard設定はラピッドバイクによって適用される電力カットのオプションを管理するための設定になります。

AutoCut－OFF ： オートカットオフ機能にチェックを入れると自動キル（カット）タイム機能を有効にします。
このDimsport社のユニークな技術により、実際に必要とされる時間だけインジェクション信号をカットして、
センサ測定値に応じて自動的にキルタイムを学習・調整する事ができます。
無駄なパワーカットを回避しつつ、より高速なアップシフト操作が可能になります。
＊注意＊ ステップの種類によっては上手く機能しない場合があります。（ギア比やレバー比に注意）

＊RPM on ： シフターが機能する最小回転数（上方回転数）quickshifterは表示されている**（設定変更可能）**
回転数より上で機能します。回転数を最小にしてしまうと機能しなくなります。（0以下＝OFF）

＊Cut-off ： シフトアップ変速を可能にするために、燃料噴射信号の時間をカットします。**（セッティング変更可能）**

＊Hold-ON ： フィルタ（Cut－off前にモジュールよって行われる）＊通常はデフォルト設定で使用
燃料噴射信号をカットした時のシリンダ内の希薄混合気の危険な状況を回避します。
0ms（マイクロセコンド）よりも高い値の場合、モジュールはインジェクション信号をカットする噴射の終了を待ちます。
0msの場合、インジェクション信号は、すぐにアップシフト信号が受信されるように切断されます（危険な状況）

＊Hold-off ： フィルタ（時間セットのためにモジュール内で作られる） **＊通常はデフォルト設定で使用**
それは、本当の上に向かうシフトの後シフト信号の上で不正なギアを避けます。
ECUがエラーを起こさない為の信号をキープ・リリース設定。

＊Cut-off by Gear ： すべての変速ギアアップのカットオフ時間を設定**（ラピッドバイクギア介入モデルのみ）**
（車体のギア表示ではなく、ラピッドバイクが介入してギヤポジションセンサを読取るモデルのみ対応・表示）

＊Cut-off by Rpm ： 回転上昇に応じてカットオフ時間を三つの異なる範囲・回転数に応じて、
Cut－off（主遮断時間）の補正係数を選択します。回転数を変更する事も可能です。

＊Threshold ： ラピッドバイクがエンジン信号をカットする・反応するセンサーの電圧セット値。
＊＊通常はデフォルト設定で使用

＊No Repeat Shift ： チェックボックスにチェックがある場合、ギアシフトレバーがニュートラル位置に戻るまで
ギアシフトUPを使用可能にしません。
サーキットなどでシフトUP後、シフトレバーをキープしたままでもフューエルカットの誤作動等を起す事がありません。
それはシフトレバーをキープしたままの状態でCut－offが終了するので連続シフトUPも可能になります。

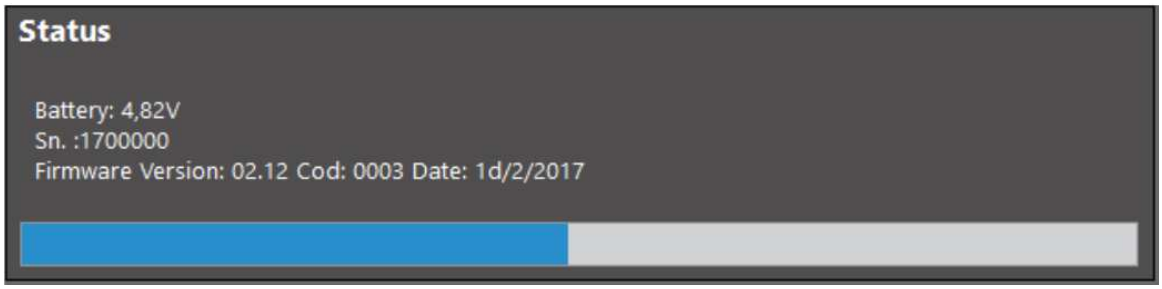
AutoCutーOFF（自動カットオフ）
＊タイムアウトオートカットオフは、自動カットオフ機能に許容される最大のキルタイムです。

数字を増やすとカット時間は長くなります。低回転時～入りやすくなります。高回転時は減らす事が必要になる場合があります。カットタイムが短すぎるとギアが入らなくなる場合があります。注意が必要な設定になります。カットタイムは余裕をもって設定して下さい。

Status ： センサーに関するいくつかの情報が表示されます。

Battery ： デバイスの電源情報

Firmware ： **現在のデバイス、ファームウェアバージョン情報**
Sn ： 製品のシリアルナンバー
Blue bar ： リアルタイムでセンサの実測値を示しています。
プッシュセンサー設定の場合、減少表示 / プルセンサー設定の場合、増加表示



Dimsport Srl
Zona Industriale Madonnina - Loc. San Iorio
15020 SERRALUNGA DI CREA (AL) - ITALY
T (+39) 0142.9552 F (+39) 0142.940094
www.dimsport.it

RapidBike
ASSISTENZA TECNICA – TECHNICAL SUPPORT
Tel. (+39) 0142.9552
E-mail: support.rapidbike@dimsport.it

UFFICIO COMMERCIALE – COMMERCIAL DEPT.
Tel. (+39) 0142.9552
E-mail: info.rapidbike@dimsport.it

JAM-JAPAN.COM

DIMSPORT a company of una azienda del gruppo HOLDIM

www.rapidbike.it